

- ・幸せを運ぶ鳥
- ・巣を作ると家が栄える

と昔から言われています。



# ウェルカム ツバメ Welcome キャンペーン

～守ろう♡ツバメと共生できるふるさと～



ツバメ博士



エサとなる虫が豊富で、巣材の泥が取れる場所、そして温かく受け入れてくれる人が住む場所にツバメは巣を作ります。近年、ツバメを受け入れてくれるお家が少なくなるなど、巣を作る場所が減りツバメは困っています。 ツバメを温かい心で受け入れ、ツバメと共生できるふるさとを守りましょう！！

## ＝ツバメの特徴＝

ツバメは渡り鳥で、石川県には3月の中旬から4月下旬にかけて飛来し、営巣、子育てを行います。秋になると約5,000km離れたマレーシア、フィリピン、インドネシアなどに移動し、次の年また石川県に戻ってきます。渡りには体力があるためツバメの平均寿命は約1～2年で、石川で生まれた若鳥が再び日本へ戻って来るのは約1割です。

子育てをする場所は皆さんの家の軒下、車庫、納屋などが多く、カラスやヘビなどの天敵から身を守るため、人間を番犬のように利用していると考えられます。そのため、人が住まなくなった家や日中人通りが少ない住宅街には巣を作りにくいようです。また、昨年子育てをした親鳥は、石川県(同じ巣を)を目指して帰ってきます。ツバメにとっての「ふるさと」は「石川県」なのです。 ※生まれたヒナは、元の巣には戻りませんが、同じ北陸地域に戻ると考えられています。

## ＝石川県の取り組み＝

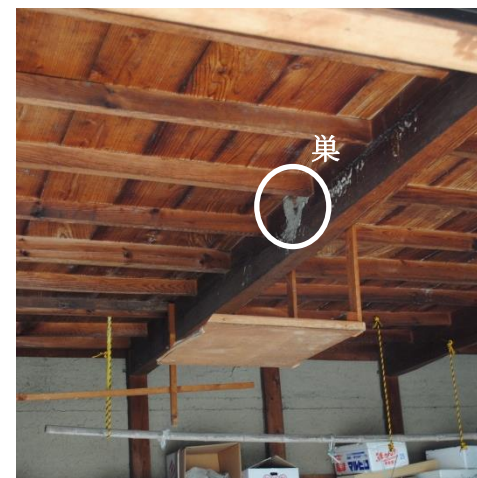
石川県では、子どもたちがツバメを通じてふるさとの環境を見つめ直し、自然を愛護する心、生き物への関心を高めることを目的に、5月の愛鳥週間に合わせ小学生による全県一斉「ツバメ調査」を実施しています。調査で自分たちの地域を回ることによって自然環境が整っているところにツバメが営巣し、なおかつ、人々の温かさがツバメを守っていることを自分の目で、足で感じ取っています。ツバメと人とのつながりや、エサとなる虫、天敵のカラス等に思いを馳せ、将来、ツバメを受け入れる大人になることを期待しています。



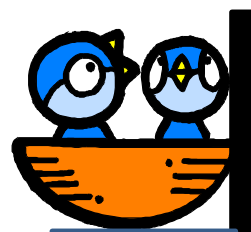
## ＝ツバメの巣台とフン除けの設置＝

ツバメが家の周りを飛んでいるのに、なかなか巣を作ってくれない時は、ツバメを呼ぶために、巣台を設置してみましょう。巣を作ってくれない所から、作っても良いところへ誘導することができるかもしれません。

※注意※  
巣台とフン受けを一緒にすることは避けましょう。巣台が大きいと巣の周りにフンがたまるので、巣を放棄します。



巣から50cm以上離して設置したフン受け



巣台は巣より大きくしない

30～40cm  
離して設置



フン受け



外壁に巣台を設置  
(喫茶店のドア近く)



タイルの壁に巣台を設置  
(肉屋の店の中)



カラスやネコが入らないように網をかけている



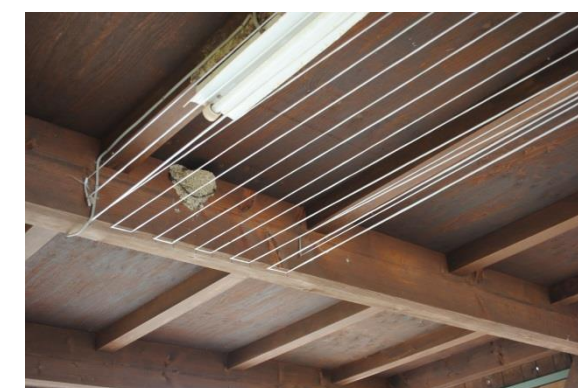
パン屋さんののき下。フンが落ちないように大きなフン受けを設置



巣の周りにビニールを吊り下げてヘビ除け、傘を逆さにしてフン除けにしている



ツバメだけが玄関内に入れるように扉の上に隙間をあけている



カラスに襲われないように、ツバメだけが通れるように巣の周りを保護している